



平成30年度総合教育会議資料

～チーム学校について～

「子どもたちを地域にかえすために」
(地域社会と連携した教育活動)

-
- 1 国(文部科学省)の方針
 - 2 県の施策
 - 3 本市の方針・施策
 - 4 地域における教育活動
 - 5 新たな教育活動の研究

1 国(文部科学省)の方針

《背景》H14～学校週5日制の完全実施
学習指導要領の変更

＜子どもたちを取り巻く課題を地域ぐるみで解決するために＞

- ①学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の設置(H16～)
地域のニーズに応じた学校づくり
- ②学校支援地域本部の設置(H18～)
地域住民等の参画による学校支援活動
- ③放課後子ども総合プランの策定(H26～)
放課後児童クラブや放課後子ども教室の整備促進 など

※ 放課後や土曜日の活用が検討課題...

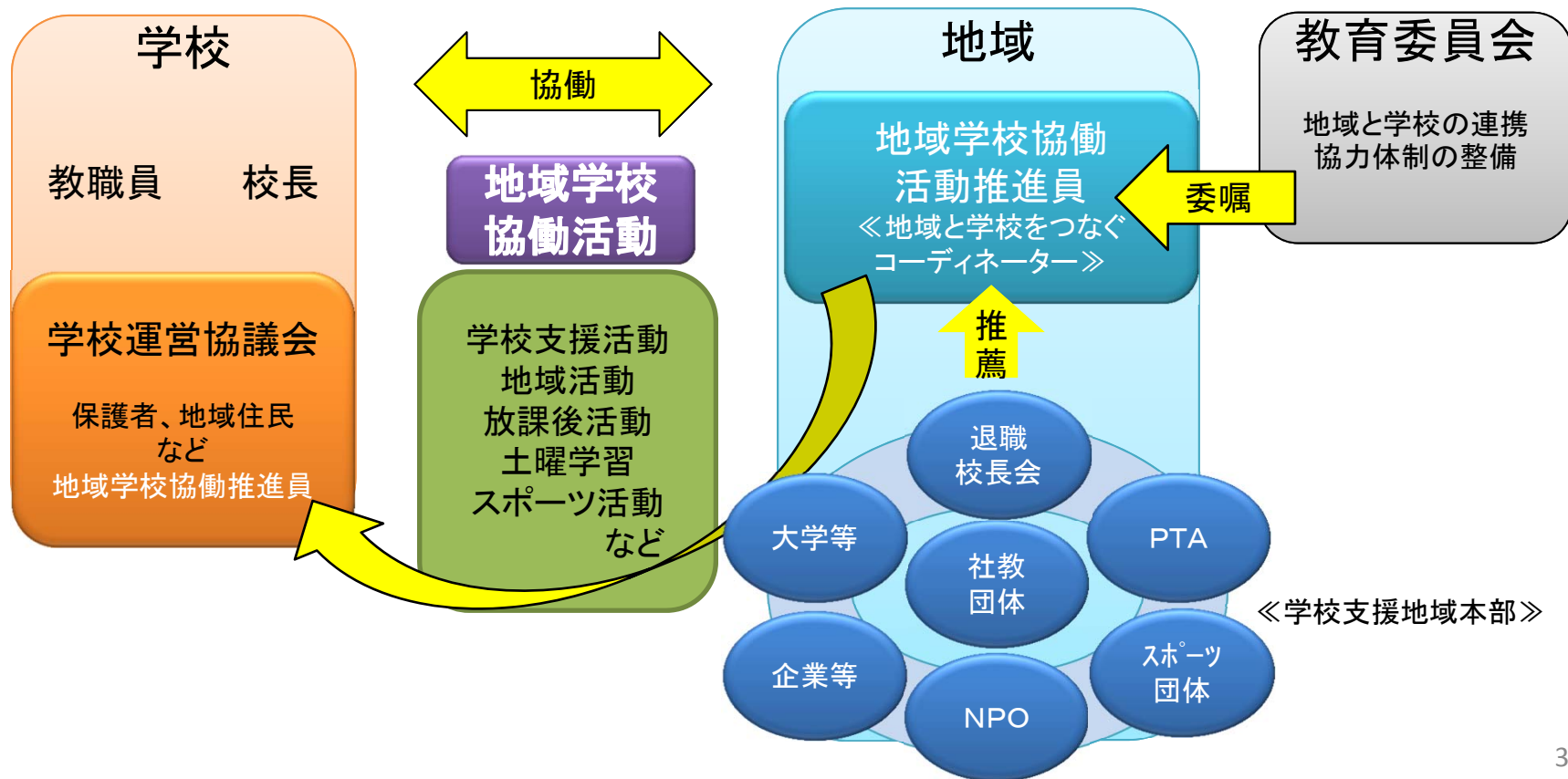
- ④土曜日の教育活動推進プロジェクト(H25～)
～地域や企業の支援による教育力の向上～
 - ・学校教育法規則の改正 → 土曜授業が可能
 - ・土曜日教育活動の推進 → 土曜学習の拡がり(大分県豊後高田市)

《次世代の学校・地域創生プラン》

⑤地域学校協働活動の推進(H28～)

(学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金)

※ 地域が学校と連携・協働して、子どもの成長を支え地域を創生





2 県の施策

〈みやざき地域学校パートナーシップ推進事業〉 (地域学校協働活動の推進)

- 地域(学校支援地域本部)による学校支援活動
登下校の指導、学校行事の参加、環境整備(清掃作業)
- 土曜日教育活動の支援
地域の人材を活用した体験学習など
- 放課後子ども教室の推進
放課後の子どもの安心安全な居場所づくり

3 本市の方針・施策

① 人間力あふれる子どもたちの育成

- ・学力向上対策、語学指導、海外交流
図書館サポーター配置ほか
- ・子ども・子育て支援

《子どもの未来応援事業》

子どもの生活・学習支援事業など ⇔ こども課との連携

※ 生活困難な状況にある子どもが健やかに育成される
環境を整備し、子どもの健全な成長を全力で応援！

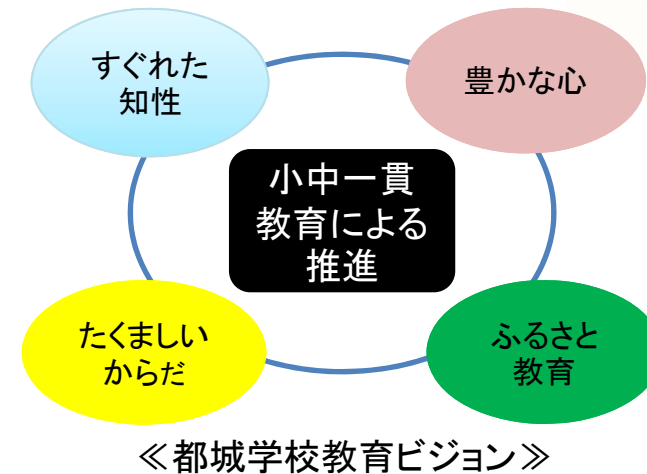
- ・学習支援を通して子どもの居場所を確保
- ・市内11箇所で実施
- ・学習支援団体をつなぐコーディネーターを配置

② 社会に開かれた学校

- ・全小中学校に学校運営協議会を設置(H25～)
保護者や地域住民等の参画による地域の
特性を生かした学校運営と子どもの健全な育成



地域とともに
にある学校





③地域を担う教育活動の支援

- ・社会教育関係団体等の育成

(自公連、PTA、子ども会、壮年、民児協等)

社教連の活動支援 ⇔ まち協との連携

- ・放課後子ども教室 ⇔ 放課後児童クラブとの連携

地域コーディネーターや活動サポーターの配置

学習支援、地域交流(施設訪問)、花壇づくり、クリスマス会、ミニ運動会、体験学習、美化活動 など

※ 保護者をはじめ、地域住民等の参画による地域で子どもたちを育む環境づくりが始まっている



4 地域における教育活動

①学校運営協議会の取組

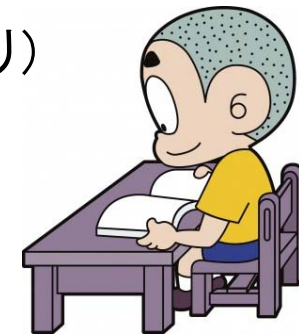
＜五十市小＞読み聞かせボランティア、米づくり体験

＜川東小＞川東小応援団（学習支援、読み語り、登下校見守り）

＜庄内小＞ビオトープ再生支援活動

＜庄内中＞夏季補充学習アシスト、教職員地域巡見

＜中郷中＞キャリア教育講演会、福祉体験活動



※ 全小中学校に設置して5年が経過

※ 地域住民等の参画による学校支援活動が推進

※ 子どもたちの学習支援、子どもたちによる地域貢献などの効果

※ 家庭・学校・地域の一体的な活動に発展 → 人づくり、地域づくりへ

②南九州大学との連携事例

＜明道小、祝吉小、富吉小＞

学校運営協議会の委員委嘱、大学生による学習支援 など

③各校区の学習支援

7つの校区で学校運営協議会のほか、地区社教などが中心になり実施している。

学校	開始	対象	実施日	時間	主催など
山田中校区	H26～	中学生	毎週火曜	19:00～20:30	地区社教
高城中校区	H26～	中学生	毎週土曜	午前中	学校運営協議会
沖水中校区	H27～	小6年生、中学生	毎週土曜	9:30～11:30	退職校長会H29～（学校運営協議会）
祝吉中校区	H27～	祝小5・6年生	毎週土曜	午前中	社福法人まりあ
姫城中校区	H28～	小5・6年生、中学生	第1・第3土曜	9:30～11:30	まち協(教育文化部会)、地区社教など
五十市中地区	H28～	中学生	第1・第3土曜	9:30～11:30	地区社教
山之口中校区	H29(2学期)～	小学生	土曜	午前中	学校運営協議会

※学校運営協議会をはじめ、各地域で子どもたちを支える仕組みが整いつつある



5 新たな教育活動の研究

～子どもたちの育成とそれを支える仕組みづくりのために～

①活動環境の整理

- ＜教育課程等の調査＞ 学校行事や課外活動の実態
- ＜子どもたちの把握＞ 保護者の意向、学習科目
- ＜協力団体の意見＞ 市社教連や退職校長会等
- ＜実施会場の検討＞ 小中学校、地区公民館 ほか
- ＜現行活動の把握＞ 学校運営協議会、放課後子ども教室等

②活動予算の試算

- ＜国県補助と申請の確認＞ 県教育庁、南部教育事務所
- ＜経費の調査＞ 需要品のリストアップ、謝金や光熱費等

③活動体制の構築

- ＜人員の確保＞ 活動推進員やボランティア

※ 子どもたちの居場所づくり
※ 家庭・学校・地域をつなぐ
地域コーディネーターの発掘と養成

